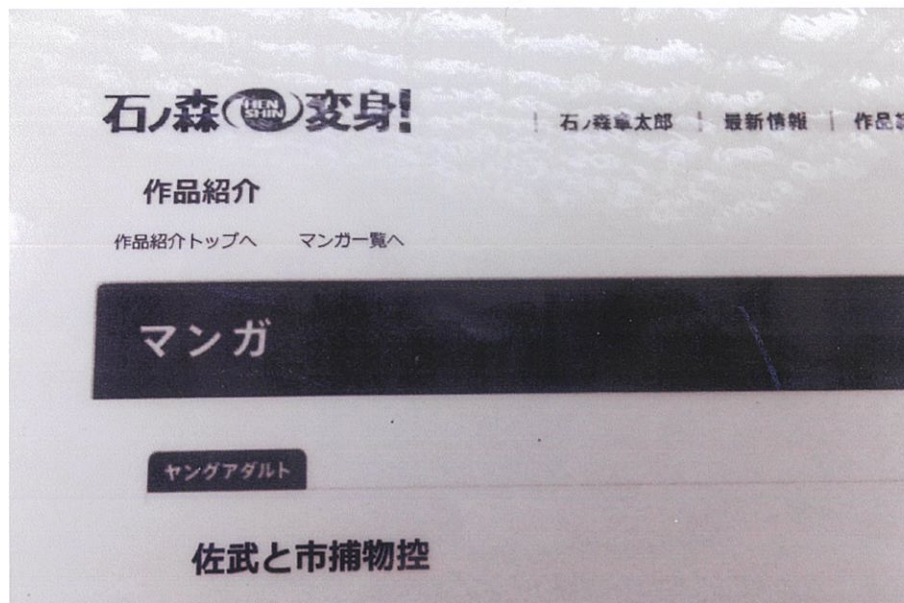


セルロイドハウス横濱館(收藏品)セル画(その2)

收藏品のセル画を、次の4項目に特別展示しております。

(1) 佐武と市の捕り物控え



* 石ノ森章太郎。昭和 13 年 1 月宮城県生まれ、平成 10 年 1 月 28

日没。章太郎は、マンガ日本経済入門（日本経済新聞社刊）を出しました。宮城県石巻市に「石ノ森漫画館」があります。手塚治虫の仲介もあり漫画少年で漫画家デビューを果たしました。佐武と市の捕り物控えは傑作中の傑作でした

(2) リボンの騎士 (その1で紹介)

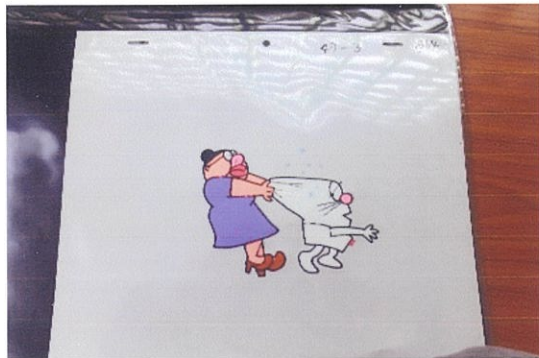
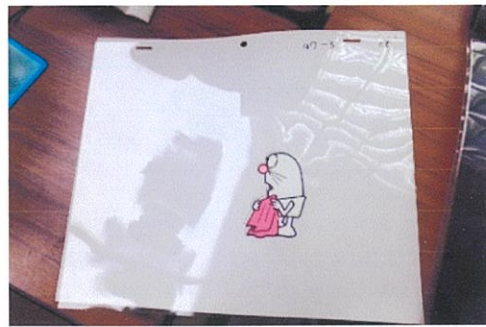
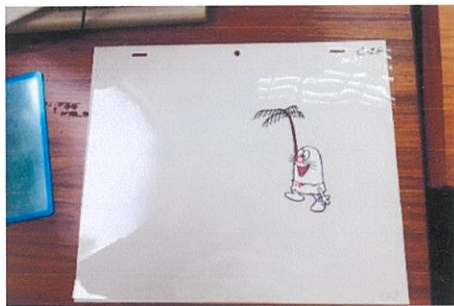
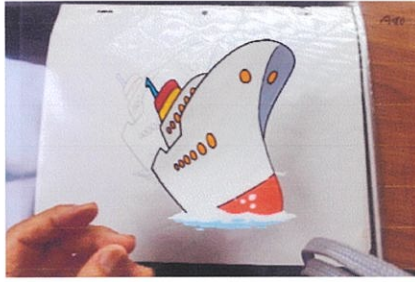


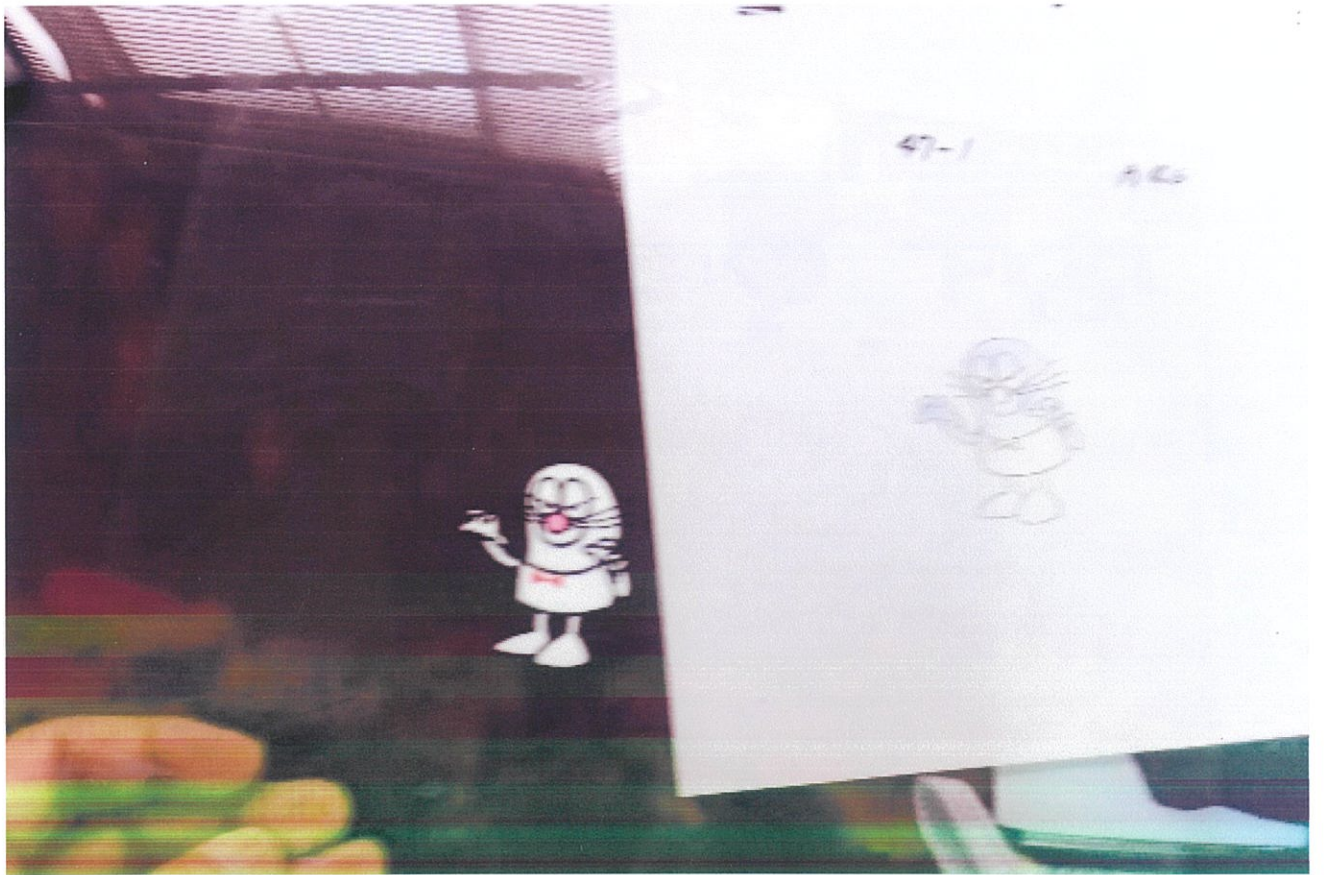
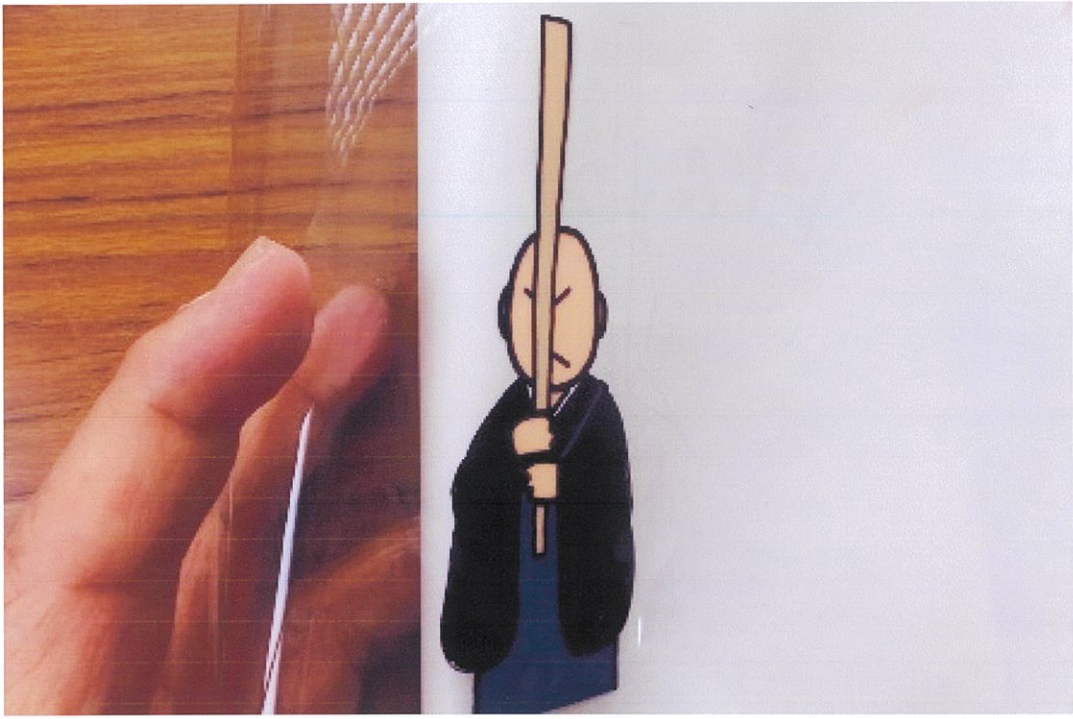
(3) 鉄腕アトム (その1で紹介済)



(4) ゲバゲバ笑タイム

以下も、セルロイドハウス横浜館に展示中の「セル画」です。





当館のセル画には、縦230cm・巾270cmと、180×250があります。セル画は、セルロイドですからもちろん透明です。写真は、セルロイド板と切り紙を離したものです。

セル画は、もともとセルロイドを素材にした薄いシートに書かれた絵のことです。透明の薄いシートは、その後アセテートや塩化ビニール製になりましたがセルロイドのセルの名前がそのまま残っているのです。

今、私たちが見ているテレビや映画館で見るアニメドラマは、昔はセル画で絵を1枚1枚書いて、それを1コマ1コマカメラで撮影し映写することで動いているようにみせるものでした。

次稿・(その3) です。

H29年7月18日 野木村 政三